

新潟県支部 珠洲市で災害支援ボランティア活動

4月11日～13日、珠洲市で災害ボランティアを実施いたしましたのでご報告します。
新潟市内の能登半島地震による液状化被害や避難所運営がひと段落し、新潟県支部会員5名は、能登半島地震の震源地付近で石川県支部が活動している珠洲市に入りました。

3か月が経過しているというのに主要幹線の道路啓開がしてあるだけで、ライフラインも調査段階で復旧しておらず、解体を待つと思われるガレキだらけで復旧には程遠い状況でした。

ボランティア活動中は、東京都支部、長野県支部、奈良県支部の方々と協働で作業するなど、交流も生まれました。

- 日時 令和6年4月11日(木)～4月13日(土)
- 人員 新潟県支部会員5名
- 内容 1日目: 畳の運びだし
2日目: 仏壇の運びだし 蔵の災害ゴミの運びだし
3日目: 住宅の災害ゴミの運びだし

道路啓開のため積まれたガレキと化した住宅や一階部分が押しつぶされたままの住宅



港湾部の津波被害も甚大で車や船も手つかずのまま



朝焼けのボラキャン珠洲

朝ごはん温めプロジェクト

最終日の終了後の集合写真

